



(1) 六月二十五日突然移動した信濃川の大河津自在堰の景(七月三日撮影)
 (1) View of Steel Floodgate at Okawadzu, Shinano River, Damaged by Flood. July 3, 1927.

の 移 動
 信濃川自在堰

新潟縣三島郡大河津の信濃川分水工事は自在堰の施設に依つて世界的に有名なものであるが、竣工後滿5年の今年6月25日突然に自在堰の一部は基礎と俱に下流へ移動した。之が爲め本流に行く水が分水路に流入して、本流にては灌漑用水不足を生じ、下流沿岸地方の大問題となつたが、内務省では時をうつつき、縮切工事を施して一時的に防水した。本寫眞は自在堰一部の移動と、應急工事としての縮切工事を示すものである。

移動の原因に就ては充分調査の上で發表される事と思ふが、自在堰の高さは河床土10尺5寸、起伏する高は約8尺、全長600尺を8區間に分ち、各部に幅63尺5寸の扉がある。

自在堰設置の海底は10尺以上も砂又は砂利層で基礎は縮切工を施し松丸太18尺乃至24尺のものを打込み、火山灰モルタルを敷き其上に厚約8尺の割栗コンクリートを施工したものである。(工事畫報十五年十二月號參照)

(2) 六月二十五日突然移動した信濃川大河津の自在堰に對し縮切工事中の景(七月三日)
 (2) Damming up the Damaged Section.

